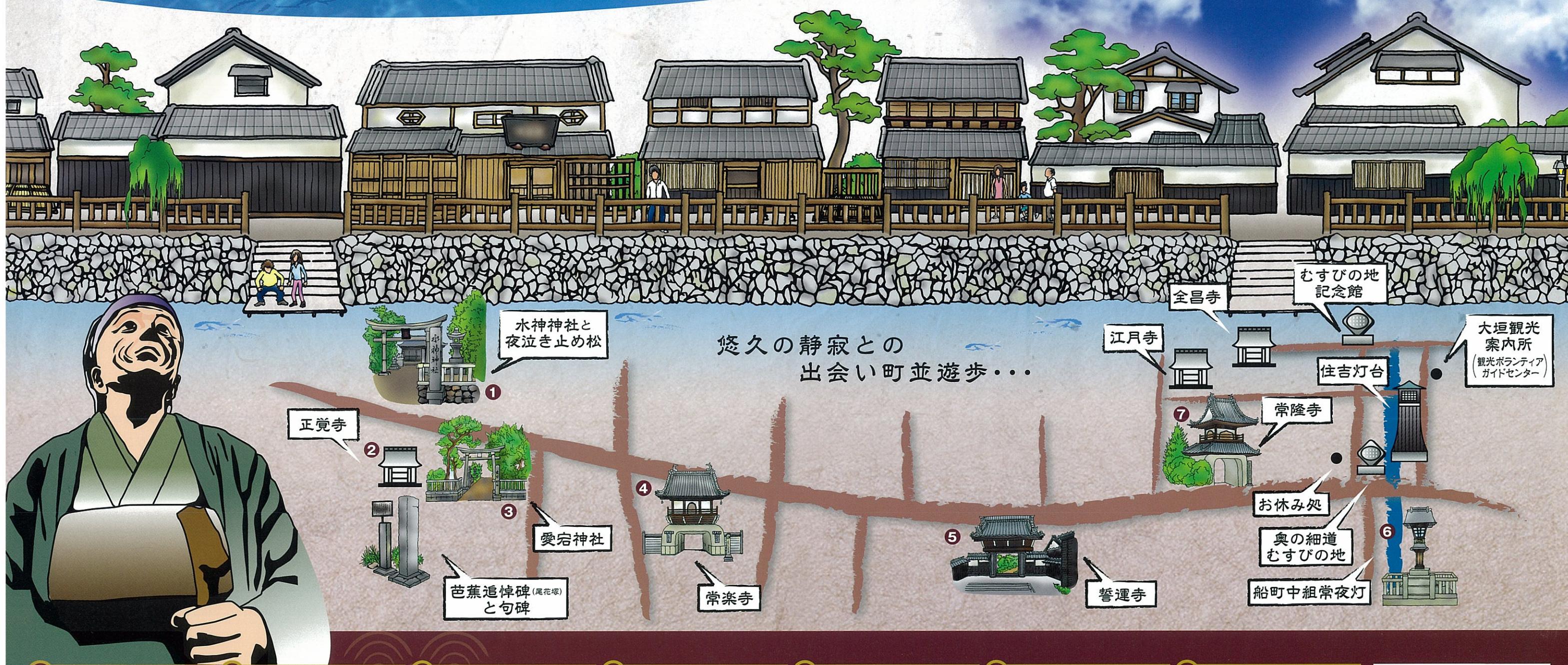


美濃路 大垣宿 西

MINOJI OGAKI STAGE WEST



1 水神神社と夜泣き止め松(船町)



○祭神は、岡象女神
夜泣き止め松の由来
この松の葉を採って寝床に敷くと夜泣き(かんの虫)が治るとされた。人家が次々と建てられ、明治3年に遷座された水神神社の境内に移されたようである。

2 正覚寺(船町)



冷水山正覚寺(曹洞宗)は、寛永12年(1635)戸田氏鉄公が大垣八幡宮境内、寒松寺に仮寺務所を置き、その後、宮町に伽藍を造営した。
戸田氏信公の代になり大垣城の裏鬼門除の地として寛文2年(1662)当地に移転した。濃尾震災で倒壊し再建。境内には戸田氏鉄公の金持佛毘沙門天を祀るお堂があるほか、キリストian燈籠がある。

3 愛宕神社(船町)



冷永山正覚寺(曹洞宗)は、寛永12年(1635)戸田氏鉄公が大垣八幡宮境内、寒松寺に仮寺務所を置き、その後、宮町に伽藍を造営した。
戸田氏信公の代になり大垣城の裏鬼門除の地として寛文2年(1662)当地に移転した。濃尾震災で倒壊し再建。境内には戸田氏鉄公の金持佛毘沙門天を祀るお堂があるほか、キリストian燈籠がある。

4 常楽寺(船町)



浄土宗、照徳山と号し、寛永12年戸田家に隨從し、当初は大垣八幡宮境内、寒松寺に仮寺務所を置き、その後、宮町に伽藍を造営した。
戸田氏信公の代になり大垣城の裏鬼門除の地として寛文2年(1662)当地に移転した。濃尾震災で倒壊し再建。境内には戸田氏鉄公の金持佛毘沙門天を祀るお堂があるほか、キリストian燈籠がある。

5 誓運寺(船町)



市指定重要有形民俗文化財、元禄年間に船町中組縁代であった谷木因が船運の安全を祈願して建立した伊勢神宮奉納常夜燈といわれ明治20年、桧皮葺きの神明造りが銅版葺きになつたほかは原型に近く再現されている。

7 常隆寺(船町)



慶長15年(1610)、江州膳所ヶ崎に創建され、尼崎を経て、寛永12年(1635)戸田家大垣入封とともに大垣に移った寺。山門は江戸末期のもの、西側の白壁は、「防火造り」で江戸時代から残る遺構である。

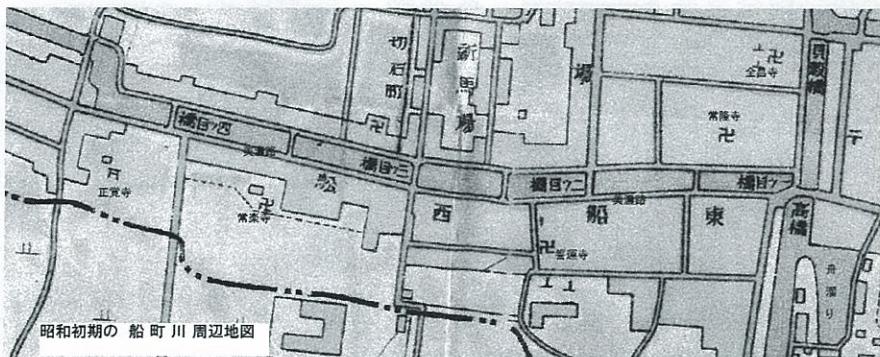
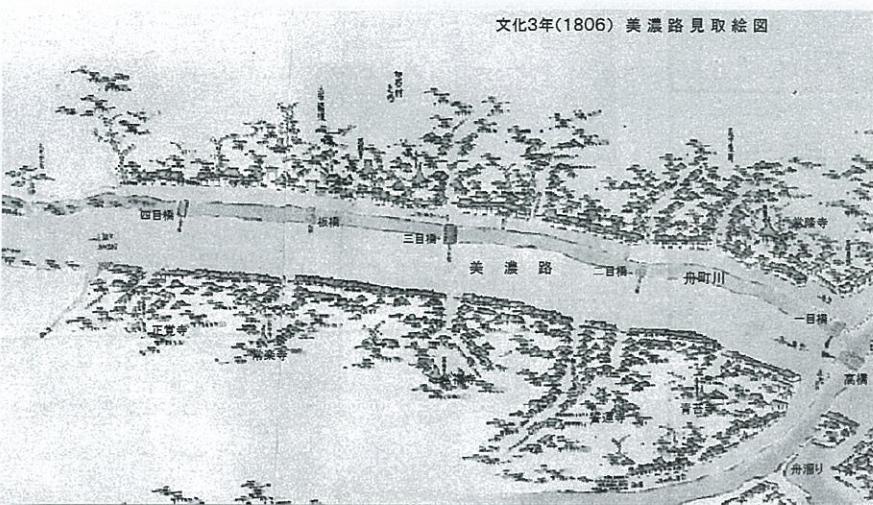
企画編集

観光ボランティアガイド
ふるさと大垣案内会

大垣市船町1-28
大垣観光案内所内
TEL 0584-74-8477

監修：清水進
デザイン：多賀久

船町川の今昔

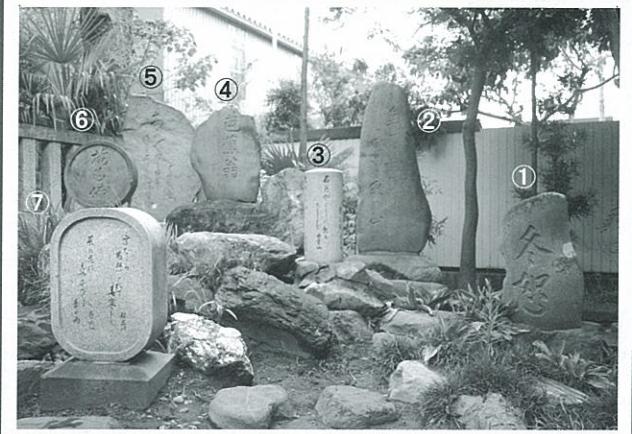


船町の高橋から西へ向って、昔は川が流れており、地元ではこの川を船町川と呼んでいた。船町には今でも住吉燈台や中組常夜燈が建っていて、川港の雰囲気が残っている。

高橋の北に谷家、南に壺屋という2軒の船問屋があり、この間に壺屋橋がかかっていた。この橋は一目橋とも呼ばれ、西へ向つて二目橋、三目橋、四目橋があった。現在の船町4丁目から7丁目の地内である。船町は水運に利用された船町川と、この川の南側を美濃路が通っていたので、江戸時代には非常に栄えた。

川沿いに造り酒屋、味噌溜屋、米屋、雜貨屋、塩屋、乾物屋などが軒を並べていた。また史跡の多い正覚寺・常隆寺・常楽寺・誓運寺もあり、愛宕神社には大垣祭りで曳く玉の井軸が保管されている。町の発展に寄与した船町川は交通事情の変化により、昭和33年度に埋め立てられて道路となった。川はなくなったが船町には往時の繁栄した面影が今も残っている。

正覚寺境内の句碑と墓碑



- ① 冬恕碑 岡田氏 名は延澄。通称四右衛門。帰庵 田中五竹坊の門に入り、後に道統補佐役となる。(安永五年建立)
- ② 氷壺坊句碑 岡田氏氷壺坊 常陸上浦の人。松寿軒・一葉明治十年建立。『無心とはあの白雲ぞ 秋の山』氷壺仙
- ③ 帰童・冬恕・廬元坊の句碑 寛政十二年、門人 桃々建立
- ④ 尾花塚 芭蕉翁追悼碑。元禄七年十月十二日、芭蕉病没の悲報が伝わると、木因・如行ら大垣俳人は、如行を中心として正覚寺において追悼供養などを行い、元禄八年一月、没後百ヶ日目にこの碑を建立した。碑面の書は門人路通の筆。
- ⑤ 芭蕉句碑 明治七年一月十二日鉄香・一瓢の発起により建立。
- ⑥ 梅花佛句碑 芭蕉十哲の一人、美濃派の始祖、各務支考『あ可あ可登 日盤徒連なくも 秋の風』はせを
- ⑦ 軽花坊・曙庵句碑 大垣の人 安政六年建立。
- ⑧ 木因の墓 谷氏 通称 九太夫。木因・白桜下・觀水軒の俳号十五歳にして船問屋の家督を相続、芭蕉と共に北村季吟に師事す。

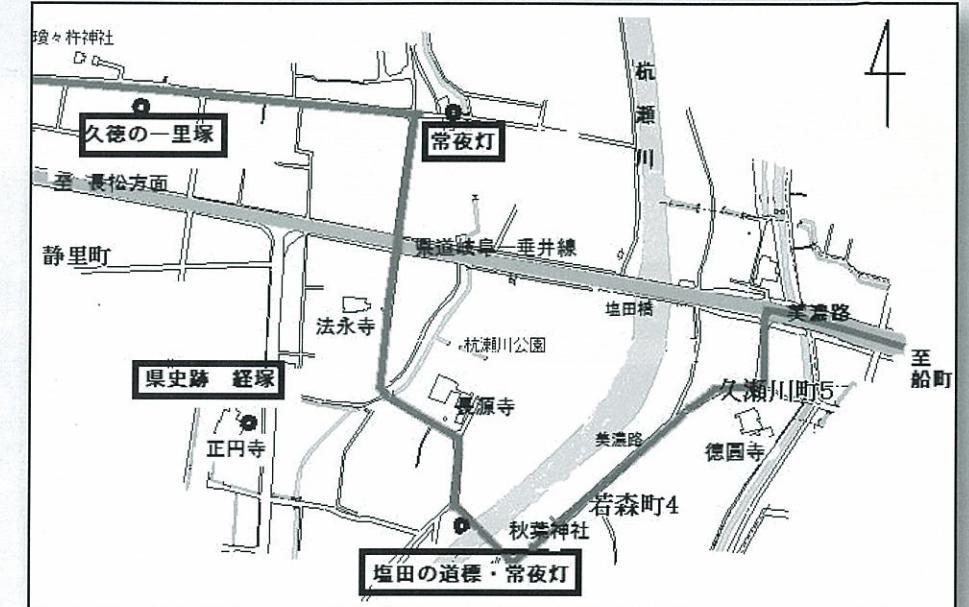


埋立て前の船町川

(高橋から西を見る)

(大垣市発行・「大垣のあゆみ」より)

大垣西部の美濃路の見所



塩田の常夜燈 (静里町)



明治13年(1880)に酒造業を営む鹿野文蔵ら有志により建てられた。

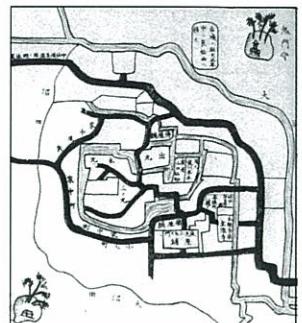
高さ5m、表面には「伊勢両宮献燈」と刻まれ、伊勢参りの人たちの標識であった。この辺りは塩田港があつたところで杭瀬川の赤坂港と桑名港の中継点として栄えた。

久徳の一里塚 (久徳町) (市指定史跡)



一里塚には木を植えることが決まりになつていて、両側に塚があるのが原則であるが、現在は、北側の塚は失われてしまい、南側のみで榎が大木となって残っている。

長松城址 (長松町)



長松城は、大垣市長松町にあって、現在、荒崎小学校に「長松城址」の標石が立てられている。

ここは同城堀のうちの一部であり、古城図を見ると、旧長松村の集落全体が城郭の形を成している。

その城郭を囲むように曲がり角が多くあり「長松七曲がり」といわれている。

(右図は長松古城図)